

## 音楽の力

校長 八木澤 龍馬

10月28日(土)の学校公開では、保護者の方々に、子どもたちの発表を鑑賞していただきました。会場の都合で学年ごとの公開となりましたが、多くの皆様にご参観いただき、ありがとうございました。また、午後の「けやっきーニコニコフェスタ」の運営では、PTA総務部の皆様を中心にたいへんお世話になりました。おかげさまで、本校の大きな行事の一つを、今年も盛況のうちに終えることができました。改めて、お礼申し上げます。

学校公開当日の学年発表は、それぞれ見て楽しく、聴いて心が暖まるものでした。これは、各学年や音楽科による選曲、脚本、演出をもとに、子どもたちが長い期間、歌や演技の練習を重ねた成果で、学年全員の息の合った元気な発表を披露してくれました。うたっているときの子どもたちの表情は、とても明るく輝いていました。なかでも5年生は、11月8日(水)に行われた「さいたま市小・中合同音楽会」に学校代表として出場し、映画「千と千尋の神隠し」を題材とした合唱と合奏が、会場の関心を集めました。とても見ごたえのある発表で、特別な場所で演奏ができた5年生たちは、達成感のあるよい経験ができたと思います。

また、金管バンドは、11月4日(土)、「マーチングバンド関東大会」に出場しました。全国大会への出場は惜しくもかかないませんでした。見事銀賞に輝く演奏・演技をみせてくれました。10月1日に開催された「西関東バンドフェスティバル」への出場に続いて、経験を重ねるごとに、音や動作のクオリティが高まり、演奏者たちの成長を実感することができました。

子どもたちは、季節や行事に合わせて選曲された「今月の歌」を、月替わりでうたっています。音楽の授業はもちろん、朝の会でも各教室から、これらの曲をうたう子どもたちの歌声が響いてきます。11月の歌は「まっかな秋」(作詞 薩摩 忠 作曲 小林秀雄)でした。歌詞には、秋にまつわる赤が並んでいます。つた、もみじ、夕日、ほっぺた、からすうり、とんぼ、夕やけ雲、ひがなばな、たきび、お宮の鳥居。きいていると懐かしい風景がうかんできます。

この曲は、1963年にNHKの「みんなの歌」で発表されました。50年以上前ということは、今の子どもたちの祖父や祖母が子どもの頃にきいたかもしれない曲なのです。近頃は、赤く熟れたからすうりや、たきびなど、あまり見かけなくなりました。しかし、身近なところから、消えてしまうかもしれない風景が、こうして、子どもたちがうたうことによって、未来へ語り継がれるのであれば、これも音楽の力なのでしょう。

大谷口小学校では、いつも歌声や楽器を奏でる音がきこえています。こういう日々の活動が、子どもたちの豊かな心をはぐくみ、身近な自然や風物に感動し、クラスや学年の仲間とより良いものを目指し、家庭や地域で元気に生活するための下支えになってほしいと願っています。